

めん羊の生産から販売まで～国産羊肉を地域の食卓へ届けたい SHEEP PORT(芽室町)



左から大井氏、金森代表

【組織等の概要(令和8年8月時点)】

- 代表：金森 善三郎（愛二牧場（帯広市））
【品種：サフォーク種・ポールドーセット種】
【飼養頭数：年間平均300頭】
- 大井 晃希（大井羊牧場（新得町））
【品種：ポールドーセット種・サウスダウン種】
【飼養頭数：約250頭】
- 所在地：河西郡芽室町東めむろ3条北1丁目1-5
- 開業日：令和8年6月13日
- 営業時間：毎週土曜日10:00～14:00（取材時点）
- 販売商品：羊肉（焼肉用スライス・ミンチ・スペアリブ等）、羊毛商品

◇【取組の経緯】

- ◆ 羊肉業界には牛のような市場（競り）がなく、生産者と飲食店が直接取引する形態が一般的である。しかし、加工を外部業者に委託した場合、自分たちの目で枝肉の品質や状態を確認できないまま出荷されてしまうという課題があった。金森代表は、肉の品質を自分たちの目で確認した上で届けたいという強い思いから、加工施設を持つことを決意した。
- ◆ そうした中、大井氏が令和8年1月に新規就農することとなり、金森代表が声をかけ、共同で取り組むことになった。2人で物件を探していたところ、芽室町内の旧飲食店跡地が見つかり、借り受けることとなった。
- ◆ 借りた店舗を月数回の加工・発送だけに使うのは生産性が低く、自分たちが十勝で生産しているものをなるべく十勝の人にも気軽に手に取ってもらえる場所を作りたいという思いから直売所の併設を決めた。

【取組の概要】

- 羊肉の国内産割合は1%以下と非常に希少であり、一般消費者が国産羊肉を気軽に購入できる場所がほとんど無いため、地域で手軽に購入できる直売所をオープン。
- 以前勤めていた都内のジンギスカン店の料理長に十勝に来てもらい、肉の適切なカット方法を学ぶ。
- 飼育方法や餌の違いから肉質や風味に違いが現れていることがPRポイント。（愛二牧場は舎飼い・穀物メイン、大井羊牧場は放牧・牧草メイン）
- 現在は店頭販売及び各牧場で通信販売を行っており、店舗を訪れた消費者には自ら商品の肉質など、わかり易く説明を行っている。



愛二牧場のめん羊
（金森代表画像提供）



大井羊牧場のめん羊
（大井氏画像提供）



販売している羊肉



店内の様子

【今後の展望】

- 消費者が日常使いできる食材として受け入れてもらえる価格帯を目指す。
- 十勝地域における消費拡大を目指し、地域の飲食店向けにPRを行い販売を検討。
- 町内で開催されるイベント等に出店し、地域との関わりを強めていきたい。